

鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地
電話：0997 (67) 2211 番
FAX：0997 (67) 2987 番
発行所：宇検村役場
編集：元気の出る課
URL <http://www.uken.net>
Mail genkid@uken.net



CONTENTS

- P 2～5 施策方針
- P 6 H18当初予算
- P 7 組織・機構の見直し
- P 8～10 お知らせ
- P 11～13 村の話題
村民のうごき



熱戦が繰り広げられた村男子バレーボール大会

平成18年度施政方針



宇検村長 元 山 三 郎

「田舎暮らし体験交流事業」

平成十七年度に体験交流センターの施設建設に着工し、平成十八年の七月の工事完成を目指し建設を急ピッチで進めているところであります。

この事業は、都市住民が非日常を体験でき、癒しの場として活用できる施設であり、近年注目を浴びている事業です。

今後は「体験交流センター」を核として都市住民と共有しながら地域活性化を図ります。

また、平成十七年度から構想を練ってきました「宇検村まるごとオーナ制度」の創設についてであります。この制度は、宇検村民が真心を込めて育てた果樹等を味わいながら、山・川・土・海などの大自然や伝統芸能・文化・風土など宇検村民の豊かな人情に触れて頂き、都市住民が生まれ故郷とはまた違った趣の第二のふるさとを創る事業です。平成十八年度の早期に全国展開でオーナーの募集開始ができるよう作業を進めているところであります。

次に昨年度から取り組んできました、東北福祉大学通信教育学部においては、平成十八年度から、通信教育学部の科目修了試験を年六回宇検村で実施することになりました。今後も東北福祉大学と連携を強化しながら活力ある村づくりに邁進していく所存です。

交通・通信網の整備

また、今年度から村民・単独事業で体験交流施設と連動して干拓八号線の改良舗装を施工してまいります。

また、今年度新たに「宇検村定住促進条例」を新設して、イターン者の受け入れ体制の充実と少子化対策としての、子育て助成金及び就学助成金を創立して、未来の宇検村を担う子ども達の健やかな成長を支援していきます。

体験交流センターやオーナー制度及び東北福祉大学関連事業及び定住促進条例を連動させることにより、中長期滞在者又は定住人口の掘り起こしを図り、都市住民と一体となった新たな宇検村づくりに村民とともに歩んでいく所存であります。

防砂堤を整備して漁港施設の充実を図ってまいります。久志地区の漁港区域指定、新規事業要望を継続して要望してまいります。

農業振興

本村においては、農業農村の振興を重点施策として位置付け、農地整備事業などの各種事業を導入し、農業生産基盤と集落環境の整備を図り住みよい農業農村の確立に向けて推進してまいります。

奄美大島南部地域農業振興支援事業で地区の生産組合への支援や営農指導のための、奄美農業創出支援事業



業等を活用して営農指導を徹底して取り組み、タンカン、ポンカン、パッションフルーツの栽培技術や品質の向上と生産量の安定的な確保並びに路地栽培の力ポチャ等の面積拡大を図ります。

また、特定農山村地域活性化推進事業を導入して販路拡大に努めます。

畜産振興においては、大都市地区にも各種事業を導入して、畜産団地の形成を図ってまいりましたが、今後ともあらゆる角度から畜産団地の育成に努め安定供給が確保出来るよう活用していきたいと思っております。

経営安定のため、引き続き肉用牛導入基金等の活用により繁殖牛の増産に努めます。

のために、家畜排泄物の効果的な活用として、有機堆肥生産システムを確立し、良質な堆肥生産を行います。本年度より新規事業を導入しております、中山間地域総合整備事業や海岸保全施設整備事業を実施して、今年度は、実施設計等を行います。

次に集落排水事業については、供用開始から九年目を迎え、処理施設内の機械器具の故障も多く、維持管理費の軽減を図るために本年度より農業集落排水資源循環統合補助事業を導入し実施設計及び管路工事を行います。

林業振興

本村ではチップ工場跡地を利用して林業振興の立場から、奄美大島森林組合が、付加価値の高い製品開発に取り組んでおる所ですが、低迷の続く社会経済状況には追いつけず県の木材対策にそった新たな方向展開への取り組みが検討されています。

ます。大島支庁が導入しております「奄美木工の里づくり」事業と連携をとりながら地場産材の活用に努力し、土木公園資材、木製家具、建具、建築用材としても需要の拡大を図るために、官民一体となってPR活動を展開して課題解決に努めたいと思います。

水産振興

本村では、地元漁業経営は依然として資本力が弱体で、高齢化、零細漁民が多く益々深刻さを増している状況であります。今までに浮魚礁や優良稚魚放流事業等で漁場を有効活用しているただし、昨年度より新規事業である離島漁業再生支援事業を導入しており、この事業を活用し漁業技術の向上を図り、漁家所得の向上と安定を図りたいと思っております。

今後漁業振興策としては一本釣りを積極的に推進するために漁家所得向上対策として、一本釣り漁業の振

観光、商工業の振興



まず、観光の開発については、湯湾岳公園を始め、峰田山園地整備事業を実施しました。なお、峰田山公園事業の関連として本年度は観光看板の設置事業を行いたいと思っております。

また、平成十九年度に中山間事業により、(仮)シマ時間体験センターを建設し、この施設を拠点に都会の方々に自然や農作業体験を行っていただき、宇検村の良さをPRし中長期滞在型につながっていくような施策を講じていき、引いて

はイターン者や、Uターン者が一世帯でも多く増えていけば過疎高齢化の解消につながってくれるものも期待しております。

次に商工業対策につきましては、商工会と連携して経営の体質改善や、経営の合理化、近代化を促進し、流通ルートを確立し、経営基盤の強化を図る必要があると思われま。

保健・福祉・環境対策

介護保険制度の改正がされる中で、本村においても第三期介護保険事業計画の策定実施し、介護保険制度の円滑な実施をいたしたい



と思えます。また、新たな介護予防サービスを提供できるよう、村直営の介護包括支援センターを開設をいたし、更なる努力を傾注して参ります。

予防サービス対策は、高齢者のいきがいと健康づくりを目的に「生き生きサロン」及び「生きがい対応デイサービス事業」を単独事業として継続実施して参ります。

村民の健康づくりである保健事業については、各種検診を実施し、疾病予防・早期発見・早期治療を今後も推進して参ります。

私が常日頃、申し上げておりますことは、村民が健康で安心して暮らせる村づくりであり、しいては保険給付等の抑制につながり、村の長期振興計画の基本構想に掲げてございます。

健康で元気な生活を支える保健・医療の充実
自立を支える人に優しい福祉社会の充実

生きがいを持って安心して暮らせる高齢者福祉の充実などの構想を推進して参ります。

尚、高齢者生きがい対策事業の一環として、結婚五十年目を記念してご夫婦を対象とした村合同金婚式を開催致します。

母子保健事業では、妊婦や乳幼児の各種検診・育児相談事業等を実施すると共に、訪問指導・相談・教育等の推進をいたします。

少子化対策事業につきましては、乳幼児のチャイルドシートの購入補助は引き続き実施いたします。

また、たまぐがね条例に基づき出産祝い金及び入学祝い金は、本年度より内容等の変更をいたし、真に定住にふさわしく永続きするよう、に定住促進条例に組み替えたいし、引き続き実施して参ります。

村保育所につきましては、保育所の統廃合について、今後検討して結論を見出し

たいと考えています。

次に、環境衛生につきましては、地球温暖が進む中で、環境を保全するため、新エネルギーの導入促進や緑化促進などに努めたいと思います。

次に、簡易水道事業につきましては現在、各地区に水道施設があり利用されていますが、施設の老朽化や水不足が生じることがあり、この様な状況を解消することや施設管理を合理化するために、昨年度、変更認可申請業務委託契約を締結した所でございます。

今年度は、事業実施に向けて現在手続きを進めているところとです。

地籍調査関係

平成十六年度から名柄、屋鈍間の県道改良工事に伴う地区を優先的に実施しており、平成十八年度も引き続き佐念集落の一部を実施しながら、屋鈍、阿室集落を併せて〇・五二平方キロメートルを実施する予定で

ございます。

教育行政について

1、基礎学力の向上
基礎学力の定着は、いつの時代であつても永遠の課題であり、教師の最も中心となる職務であります。教師としての質の高い研修と情熱を望んでやまないところであります。

学力を定着させるためには、家庭の協力が不可欠であります。このことを、PTAや家庭教育学級等、大いに話題にして、色々な阻害要因を一つ一つ取り除き、子供にとって、最も良好な条件整備を図る必要があると思ひます。

2、徳育の涵養

人の子もわが子同様、地域ぐるみで健全な青少年の育成に、関係団体・機関の協力を得て取り組んで参ります。

3、気力・体力の増進

子供の筋力や骨格の発達に合わせた、適時の運動内容やスポーツ活動を取り入

れ鍛錬していくことにより、子供たちは、苦しみを克服し、スポーツの楽しさを体得していくものであります。ただし、心身の発達にそぐわない無理な鍛錬を強要したり、長時間の活動になつたりと、学習との両立を阻害し、生活習慣の乱れが生じる活動であつてはなりません。文武両道・文武両立の方針が肝要であります。

4、教職員の職責の高揚と服務規律の厳正確保
本村の学校に勤務している教職員は、学校での勤務態度は良好で、子供の学力向上と教育活動に専念する傍ら、地域に溶け込み、集落の諸行事にも協力的であると信じております

各学校、職員が一丸となつて、子供を輝かせ、学校の名誉のために堂々と努力している最中、一人の不心得者が、不祥事によって逮捕されるといふ事件が発生し、誠に、残念至極であります。村民は勿論、県民



の信頼を裏切り、宇検村の名誉を傷つけた罪は、重大であります。この事件に対しては、厳正な措置がなされなければなりません。この事件の重大さを深く受け止め、教育委員会と学校現場において、指導態勢を立て直させ、抜本的な対策を講じて参ります。

5、社会教育の充実

本年度は、第十一回大島地区生涯学習推進大会並びに、第十四回大島地区広域文化祭が、宇検村で開催されます。

期日は、平成十八年十一月二十六日(日)で、大会

テーマは「ふるさとのよさに根ざした地域社会の活性化」であります。参加要請計画では、参加人数を全体で五百名、宇検村は百五十五名を予定しております。小さな宇検村が受け入れとなることから、「一日開催」とし、当日の日程や運営の効率化を図るため、綿密な運行計画を立案実行し、「宇検村にまた来たい」と言われる接遇で取り組んで参ります。

本年度は、また、「第十八回ふるさとを興す大島地区保健・福祉学習大会」が鹿児島県結核成人予防婦人会・大島地区結核成人予防婦人会の主催で、「宇検村」が担当会場になっております。主催者側と地域女性団体連絡協議会及び担当課の連携を図り、その趣旨にそって成果が期待できるよう推進して参ります。

6、文化活動の推進

(一) 島口の保存・伝承
平成十七年度から「島

口」のビデオ収録の事業を展開しております。今年度も長老の方々の映像と言語音声の「ビデオ収録」に取り組み、島口の単語集の作成、方言の敬語の表現や、各集落のイントネーションの特徴等を集大成していけるのではないかと考えております。

(二) 「やけうち唄あしび」大会の開催

「第一回やけうち唄あしび」を、平成十四年度に実施いたしました。村民の関心が高く、大好評であり、文化協会で運営を検討し、充実した大会になるように立案していただきたいと思っております。

(三) 村史編纂

宇検村史の編纂については、大正六年、「宇検村政」が施行され、平成十九年度で九十年の節目を迎えますが、その節目の年に合わせ、まずは、宇検村内の「集落史」を完成させる計画で編集事業に取り組んで

参ります。その後、集落史を基に集大成を図り、念願の「宇検村史」の完成を見る運びで鋭意推進して参ります。

7、育英財団関係

本村の育英財団の事業は、これまで、本村の子弟の教育に多大な貢献をして参りましたが、今後は事業内容を十分検討し、最も有効な活用を講じていく考えであります。

8、スポーツ活動の推進

地区スポーツ少年団交換大会の「柔道競技」が、「宇検会場」となっております。こどもたちの活躍が大いに



期待されますので、村民の熱い声援をお願いいたします。

9、消防防災について

今年度に宇検村防災会議を開き、村内の危険箇所の点検や地域にあつた地域防災計画の見直し等を行い村民誰もが安心と安全の宇検村づくりを推進していきます。

昨年度は、各集落ごとに避難場所、避難経路等を示した防災マップ図を村内各家庭に配布しておりますので、今後は、各消防団或いは、集落の自主防災組織の協力を得ながら住民への訓練を実施し、集落民が迅速に行動出来るように努めて参ります。

中核医療機関から離れた

本村におきましては、現在、宇検消防分駐所に二名の救急救命士が勤務しております。今年度は救急救命士が救急車の中で措置できるような、最新型の救急車を購入し配備します。

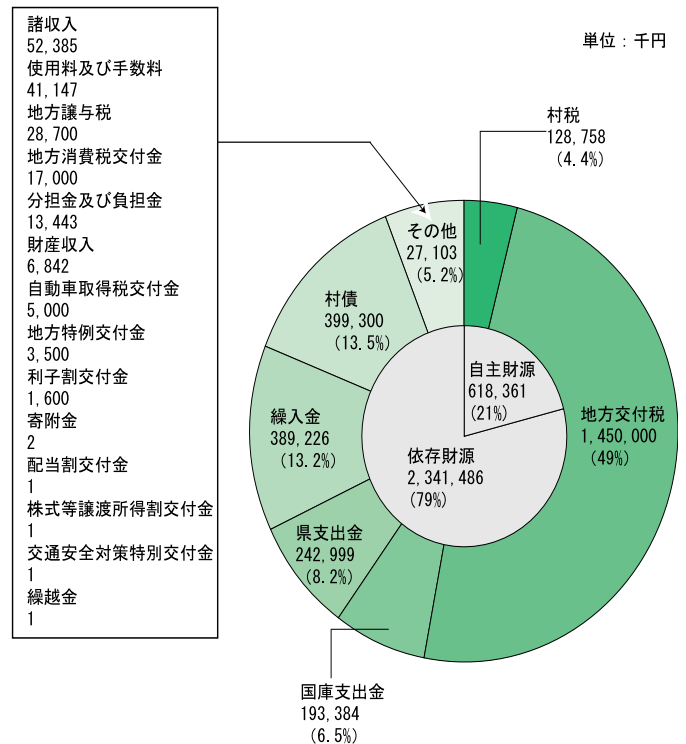
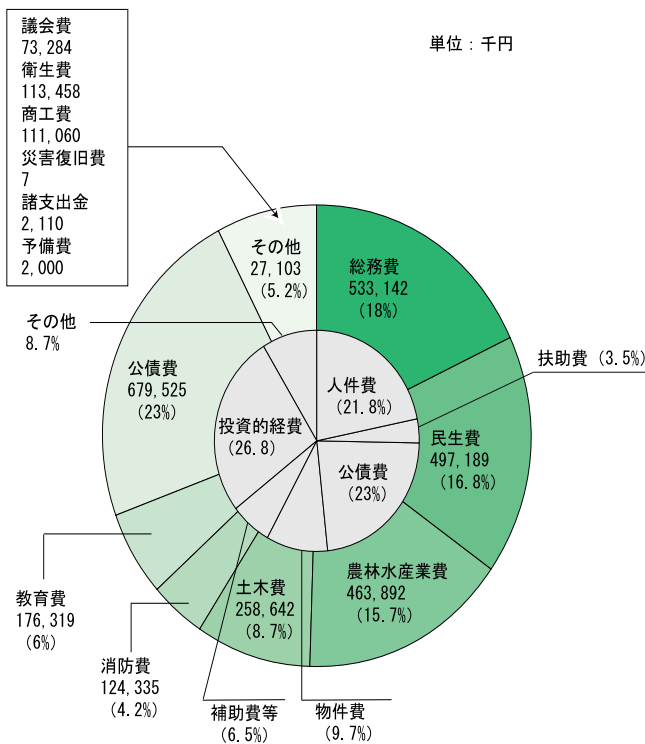
また、今年度は、七月一日に第三十七回大島支部消防操法大会が宇検村で開催されます。郡内から消防関係の皆さんが約二百名来村されることになっておりますので、受け入れを万全にしていきたいと考えています。

平成十八年度の当初にあたり、問題が山積する中で、厳しい行財政運営を進めていかなければなりません。市町村合併には昨年、単独の道を歩むことを選択し、これからの行財政運営は、今年度を改革元年と位置づけ、更なる行財政改革を積極的に進めなければならぬと考えます。又、小さくても輝く宇検村づくりのため、企業等の誘致を進め、雇用拡大や自主財源の確保に取り組んでまいる所存であります。この時期に村民と力を合わせて、宇検村が将来に誇れる村づくりを推進してまいる所存であります。

平成18年度当初予算

厳しい中でも村内の浮揚のために！

平成18年度の当初予算について元山村長は、本年度の予算編成にあたって「厳しい財政状況の中で、財政の健全化を図ることを念頭におき、行財政改革で示した数値目標等の歳出項目の徹底した見直しを行なっていきます。」と語っています。



■村民1人当たりに使われるお金
(H18.5.31現在の人口：2,089人)

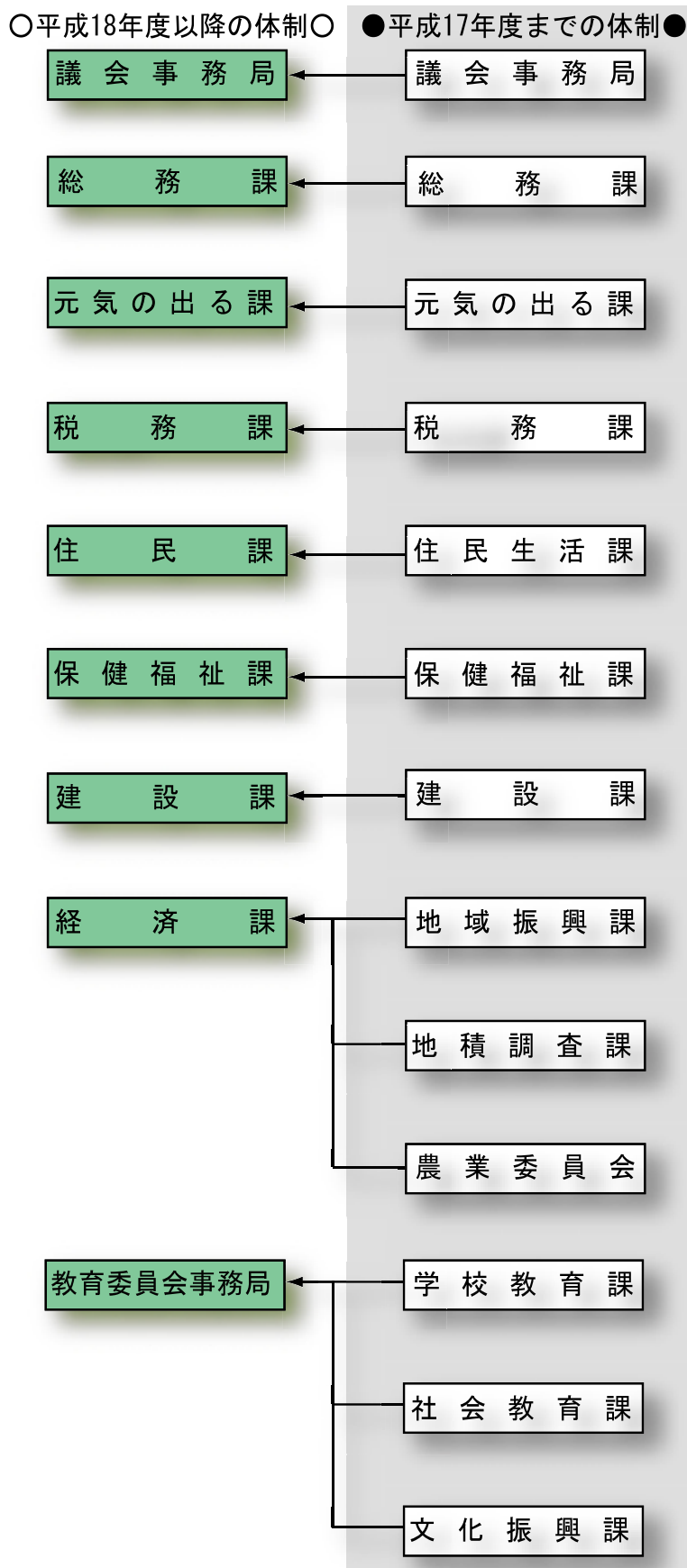
項目	金額
総務費	255,213円
民生費	238,003円
農林水産業費	222,064円
土木費	123,811円
消防費	59,518円
教育費	84,403円
公債費	325,287円
その他	12,974円

会計名	予算額	増減(前年度比%)
国保事業特別会計	301,298千円	△6.7
国保施設事業特別会計	73,431千円	△2.3
老人保健医療事業特別会計	435,806千円	△4.1
簡易水道事業特別会計	174,196千円	221
農業集落排水事業特別会計	144,042千円	83
漁港漁村集落排水事業特別会計	22,383千円	△0.009
介護保険事業特別会計	354,276千円	△0.6

組織・機構の見直し

七課・二局・一室体制へ

組織・機構の見直しについては、平成十八年度より現在の地域振興課を経済課、住民生活課を住民課に変更し、十一課・二局・一室を平成十八年度に農業委員会・地籍調査課を経済課に統合し、また、教育委員会の三課を統合して事務局の一局体制にして七課・二局・一室体制にして、今後は状況に応じて見直しを行ってまいります。



※ 大きな統合が行われたのは、地域振興課・地積調査課・農業委員会が一つになった「経済課」、学校教育課・社会教育課・文化振興課が合わさった教育委員会事務局です。また、簡易水道事業が住民課から建設課へ、総務課で行っていた高校生バス券補助事務や保健福祉課で行っていた老人無料バス券事務・敬老年金事務・戦没者関係事務が住民課へそれぞれ移管されました。

お知らせ

地域包括支援センターを設置

高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として、地域包括支援センターが設置されました。

ケアマネジャー、保健師等が中心となって専門知識を活かし、介護予防ケアマネジメントをはじめ総合的な相談や権利擁護などさまざまな支援を行います。

高齢者の皆さんが住み慣れた地域で生活を続けていけるよう、地域包括支援センターをご利用下さい。

地地域包括支援センターに従事する職員は、次のとおりです。

所	長	渡 明仁（保健福祉課長兼務）
係	長	亀石広美（社会福祉主事）
保	師	古島敦子
看	師	徳田千春
ケアマネジャー		三谷君江
問い合わせ先	保健福祉課	☎67-2211(内線110・111)

社会を明るくする運動強調月間

（7月1日～31日）

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

鹿児島県保護観察所

8月は『電気使用安全月間』です！



次のことに注意しましょう

- ・ 電柱に登るのはやめましょう
- ・ 切れた電線に触らないようにしましょう
- ・ 発電所や変電所の構内に入るのはやめましょう
- ・ 電線の近くでのセミ取りや釣りなどには十分注意しましょう

九州電力株式会社奄美営業所

お問い合わせ：フリーダイヤル 0120-986-808



ちびっ子体験学習 in 奄美大島

宇検村ではこの夏、小学生の一部を対象とした体験学習を行います。これは本村の恵まれた自然の中で、普段都会に住む子供達がなかなか味わえない体験をしたり、宇検村の子供達、そして全国から集まる見知らぬ仲間達との生活とおして、規律や仲間と助け合う事の楽しさ、大切さを学び、互いに友情を深めることを第一の目標としたイベントです。

主な活動内容は『黒糖作り・イカダ作り・シーカヤック・魚釣り・川遊び等』です。宇検村を満喫したい元気なちびっ子のみなさん！ご応募をお待ちしています！！

日 時 平成**18**年 **8**月**19**日(土)~**24**日(木) **5**泊**6**日

参加条件 小学3年生~小学6年生
ルールを守り、仲間を大切にする青少年

定 員 50名(先着順受付となります)

申込み方法 申込みみ切：7月28日(金)

参加を希望される方は、センターまでお問い合わせ下さい。参加申込書を完全記載し、保険証のコピーを添えて本会までお送り下さい。又、宇検村役場ホームページ(<http://www.uken.net/>)からも申込書をダウンロード出来ますのでご利用下さい。

詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。



お問い合わせ先・お申し込み先

宇検村シマ時間体験センター
〒894-3301

鹿児島県大島郡宇検村湯湾9-1

Te1 : 0997-67-2909

Fax : 0997-67-2909

ホームページ : <http://www.uken.net/>

お問い合わせは

月~金(8:30~17:00)

担当：植田，林，元山

平成18年度自衛官等募集案内

募集項目		資格	受付期間	試験日	
高	防衛大学校学生	推薦	高卒(見込含)21才未満の者・推薦については高等学校長の推薦等が別途必要です。	9月5日～9月7日	9月23・24日
		一般	高卒(見込含)21才未満の者	9月8日～9月29日	1次11月11・12日 2次12月12～15日
	防衛医科大学校学生	高卒(見込含)21才未満の者	9月8日～9月29日	1次11月4・5日 2次12月6～8日	
卒	航空学生	高卒(見込含)21才未満の者	8月1日～9月8日	1次9月23日 2次10月14～19日 3次11月12日～12月8日	
	看護学生	高卒(見込含)24才未満の者	9月8日～9月29日	1次10月15日 2次11月18・19日	
	一般曹候補学生	18才以上24才未満の者	8月1日～9月8日	1次9月16日 2次10月7・13日	
等	曹候補士	18才以上27才未満の者	8月1日～9月8日	1次9月16日 2次10月7・13日	
		男子	18才以上27才未満の者	年間を通じて行っておりません。	受付時にお知らせします。 ²
	2等陸・海・空士	女子	18才以上27才未満の者	3・4月採用 8月1日～9月8日	9月24・25日
			8月採用 最寄りの地方連絡部にお問い合わせ下さい。	受付時にお知らせします。	

- 1: 平成19年3月中学校・高等学校卒業予定者, 中等教育学校前期課程修了予定者及び中等教育学校卒業予定者の受付については, 上表にかかわらず, 文部科学・厚生労働両省から示された期日以降実施します。
- 2: 平成19年3月高等学校卒業予定者及び中等教育学校卒業予定者のための採用試験は, 原則として平成18年9月16日以降に行います。

◎詳細については 自衛隊鹿児島県地方連絡部奄美大島駐在員事務所
53-1111(内256) 53-9103(直通)

宇検村役場 総務課
67-2211

赤い羽根 共同募金

ご協力ありがとうございます

一般募金実績額 **753,859円**

内訳	金額	募集内容
1 戸別募金	512,460	各世帯や個人・事業所からの募金
2 街頭募金	23,162	公共施設の会計窓口や各お店のに置いた募金箱より
3 法人募金	190,000	事業所からの大口の募金
4 学校募金	22,696	学校での児童生徒会の募金活動で募った募金
5 その他	5,541	期間以外の募金
合計	753,859	

各市町村より昨年集められた募金は県共同募金会へ送金され、18年度の事業配分金として各市町村社協にも配分されます。宇検村社協への配分金は福祉ネットワーク事業、地域福祉活動広報事業、合同金婚式記念写真贈呈事業、公共施設備品整備費等に配分予定を計画しています。

歳末たすけあい募金実績額 **46,7257円**

内訳	金額	募集内容
1 戸別募金	467,257	各世帯や個人からの募金

共同募金宇検村支会
宇検村社会福祉協議会

みんなの広場



この欄は、みなさんのページです。村政への意見や提言、要望、詩、俳句その他なんでも結構です。およせください。

元気の出る課広報係

去る5月25日～26日、昭和16年巳年生まれ同窓会を鹿児島にて開催しました。5年前に島で還暦の同窓会を開催したので、暫くはこの同窓会を開催する機会がないと思っておりましたが、皆子育てや仕事も一段落していることと、同窓生を懐かしく思う気持ちで、今回のこの会を開催する運びとなりました。参加者は東京、大阪、島からと鹿児島、今までの子育てや、仕事の苦勞を温泉で癒したり、カラオケ等で気分をリフレッシュしたりしととても楽しい時間を過ごしました。

懐かしの記憶・・・11

写真はその時代の風景を正確に写し、その画像は人々の忘れかけたウムイを鮮明によりみかえらせる



田検集落の棧橋（現在の田検小学校体育館前の海岸にあった）での見送り風景。船がまだ交通の主流をなしていた頃、村内の各集落で見られた光景だ。当時、宇検村から名瀬市までは定期船が一日一便運航していた。この頃まで、人々にとって旅立ちとは別れであった。大勢の集落民が棧橋に出て見送る中、船はゆっくりと岸を離れていく。人々は船が徐々に小さくなり遠くの岬の陰に見えなくなるまで、手を振り続けていた。写真の中の人々の姿や、紙テープを持つ子供達の表情が懐かしい。「会うは別れの始まり」と言われるように、いつの時代も人々の間には楽しい出会いがあり、そしてつらい別れがあった。

写真提供者：渡 明仁氏（田検）

皆さんのアルバムの中にある懐かしい写真をご提供下さい。このコーナーで紹介いたします。（尚、提供いただいた元の写真はお返しします。）

宇検村教育委員会事務局 文化振興係 67-2261
 宇検村役場元気の出る課 広報係 67-2211までお願いいたします。



きれいな 宇検村に！

4月15日（土）、宇検村の海や景色をきれいに觀賞していただくこと、役場職員で屋鈍海水浴場とタエン浜海水浴場周辺のボランティア作業を行いました。海岸に打ち寄せられたゴミの回収や施設周辺の草の薙ぎ払いを行いとてもいい汗をかくことが出来ました。今後も海開きを迎えるまでに定期的に作業する予定です。

やけうち唄アスィビ

去る4/22日（土）元気の出る館において第4回のやけうち唄アスィビが開催されました。

この催しは、俗に「唄遊び」といわれる楽しい唄掛け合いの雰囲気「元気の出る館」で再現できたらと開かれたものです。当日は“島唄好き”な皆さんが総勢32名出演されました。



最後は会場全体で六調を踊って締めました。

今回デビューという方々が約半数をしめましたが、100名を越える聴衆の皆さんもあたたかく見守り終始和やかな雰囲気でした。さながら「NHKのど自慢」の島唄バージョンのようにも感じられ、参加者と聴衆が一体となって作りあげた「唄遊び」であったと思います。いつの時代もこのような「元気」が人と人を結びつけ地域をつくっていくのではないかという感じがしました。



熱心に嘉原先生のお話を聞く子供達

本の素晴らしさを今の子供達に知って欲しいと言ったことで教育委員会が毎年開催しています、「読み聞かせ会」が田検保育所で行われました。
嘉原カヨリ先生のお話には子供達は目を輝かせながら聞いていました。

★読み聞かせ会が
ありました！★

宇検村消防団が

消防長官表彰

平成18年3月3日、宇検村消防団は東京の日本消防会館ニッショウホールにて消防庁長官表彰を授与されました。

この表彰は「災害の防除と消防力の強化に努め、その成績が特に優秀であり他の模範と認められる」団体に表彰されたものです。表彰を受けた保池久団長と安田晃典副団長は、4月19日宇検分駐所本田所長らと共に村長室を訪ね元山村長に表彰の報告を行いました。

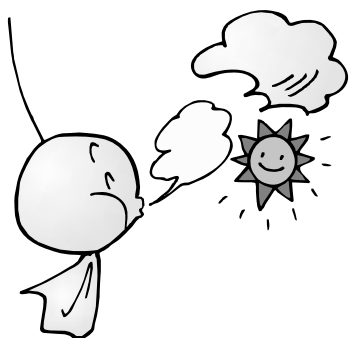


村長から改めて賞状を授与される保池団長

村民のうきぎ

(五月一日現在)
誕生おめでとう

- H18・3・20生
父 義和 母 玲子
持留 照大(男) 宇検
- H18・4・5生
父 恵一 母 朝美
藤 明生(男) 湯湾
- ご冥福をお祈りします
中村 隆弘(80歳) 湯湾
土岐千代子(101歳) 須古
宮岡 勇(76歳) 名柄
登 テル(94歳) 湯湾



社協だより

(五月末日現在)
次の方々から村社会福祉協議会へ、香典返しにかえて寄付がありました。

- 故人のご冥福をお祈りすると共に、厚くお礼申し上げます。
- 屋宮 益代 大阪府 亡弟 柳 廣人
- 中村 タツエ 湯湾 亡夫 中村 隆弘
- 植 茂 湯湾 亡叔母 植よし子
- 土岐 至男 千葉県 亡母 土岐千代子
- 宮岡 和子 名柄 亡夫 宮岡 勇
- 栄 光成 奄美市 亡母 本田フジナ
- 中野 瀧子 部連 亡夫 中野 悟
- 福島 恵美 湯湾 亡父 福島貞行
- 安財 友二 田検 亡兄 安財ムラ

【寄付】
河内 セツ 名瀬市
徳田 伸一 芦検

広報お礼

- (五月末日現在)
- 高田 四男 埼玉県 湯湾
 - 松井 好直 神奈川県 芦検
 - 幸田孝一郎 千葉県 芦検
 - 溝辺 勇男 兵庫県 湯湾
 - 徳田 操 神奈川県 芦検
 - 川畑 末次 神奈川県 芦検
 - 藤野 綱三 大阪府 芦検
 - 川畑 安治 神奈川県 芦検
 - 東 久利 東京都 名柄
 - 松井 郁子 千葉県 芦検
 - 中井 貫二 東京都 芦検
 - 柳原 ナミ 兵庫県 湯湾

村の人口

(平成18年5月末現在)
男 1,011人
女 1,099人
計 2,110人
世帯数1,124

すくすくと
育て玉黄金
育て為になれ島の宝



ただいまヤンチャ盛いの千ビツ子です。
ご紹介します。



田代 彩乃^{あやの}ちゃん
H17・2・7生 田検
(父)正広・(母)徳子



時田 祥歩^{さきは}ちゃん
H16・12・19生 湯湾
(父)光・(母)三紀



増重 友哉^{ともや}くん
H16・6・13生 須古
(父)光一・(母)めぐみ

6月4日・6月11日の
2週にわたり開催された
村バレーボール・グラン
ドゴルフ・ゲートボール
大会の結果を掲載します。
(優勝者のみ)

6月4日
村女子バレーボール大会
優勝 崎原チーム

村グランドゴルフ結果
【男子の部】
59歳以下 栄 芳雄さん
60歳〜69歳 田春 好秀さん
70歳以上 溝辺 哲雄さん

6月5日
村男子バレーボール大会
優勝 湯湾壮年チーム

村ゲートボール大会
優勝 れんとチーム(湯湾)
立花実雄、泉侃雄、
高田タツエ、貞野ミツヨ、
里村ヒデ、盛フク子

【女子の部】
59歳以下 石原千鶴子さん
60歳〜69歳 栄 小夜子さん
70歳以上 玉利ノブ子さん



えっ？ ハブがハブを。。。

去る6月4日、村バレー・ゲートボール大会のあった午前11時頃役場から「ハブがハブを飲み込んでいるので是非写真撮影して欲しい」と言う連絡がありました。

突然のことで初めはピンときませんでした。急いで役場のハブ小屋前に駆けつけると、そこには体長1mを超える大きなハブがこちらを睨んで構えています。

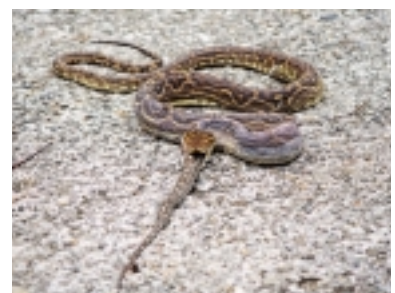
そのハブの大きな口元からは何と尻尾がニユルツと出ていて、居合わせた人たちも口々に「ハブがネズミなどの小動物を飲み込んでいる姿はたまに見かけるが、共食している姿を見るのは全く初めて」と話していました。

この珍しい事件の現場はと言うと屋鈍漁港の舟溜まりだそうで、何でも屋鈍在住の政野義美さんが朝早く船のロープをはずしていたところ、舟溜まりの真ん中でゴニョゴニョと動いている物体が目に入ってきたので、ふと目をやると前述のような光景があったということだそうです。

梅雨に入り蒸し暑い季節を迎えましたが、皆さんくれぐれも足下にはご用心！



見づらいたが上が飲まれたハブで、下が飲み込んだハブ



これがハブを飲み込むハブ